



プランター栽培通信NO.4 最終号

R4.12

12月もうすぐ終わりですね。プランター栽培も終了となります。
栽培チャレンジの参加者の方から素敵な写真や感想が届いております。
プランター栽培通信としてご紹介していきます。

🌱栽培の様子



小カブが頭を出しました



ほうれん草の種まき



大雪の中でも頑張っています



ほうれん草成長中



白菜収穫しました



白菜切ってみました



小カブの収穫



小カブの収穫をしています



間引きしています

🔍料理しました



小カブの煮物



白菜と豚肉のトロトロ煮



白菜とタラのシチュー



白菜のクリーム煮



小カブとミニトマトのチーズ焼き



小カブとベーコンの炒め物



ほうれん草のサラダ



サニーレタスのサラダ



小カブの味噌汁



～ 現在の栽培状況、収穫後の料理について ～

○サニーレタス

- サラダにしました。
- 沢山収穫出来、今は茎が 50cm 位残ってその先に蕾みが付いています。
- 2 回収穫後、芯だけが成長し、終了しました。
- 美味しくいただくことができました。

○ほうれん草

- 寒くなりましたが、未だ未だ元気に繁っています。
- プランター栽培の為か、丈が短いですが柔らかくて美味しいです。
- 前回から全く伸びず、もうしばらくと思っていたら、今日の雪にうまってしまいました。収穫できず、すみません。
- 種から芽が出てすすく大きくなり成長が感じられ子供も嬉しそうでした。グラタンに入れたり、ベーコンと炒めてお弁当に入れたりして食べました！採れたてはクセがなくて、子供もたくさん食べてくれました。

○ミニ白菜

- 重さが 350～380g、長さが 30cm、口径が 30cm くらいになりました。
- 白菜とタラのシチューを作りました。
- 付いていた青虫さんは退治できて、その後葉っぱを食べられることなく過ごしております。そろそろ巻いてくるのかな？と楽しみにしながら、寒くなってきたからか、肥料がないからかあまり大きくなっていかないような感じがしております。
- 白菜は「なかなか玉にならないよ！」と知人に言われていたので、生長が気がかりでした。何とか葉が巻き始めたものの、その後はそれ以上の変化が認められず「もっとしっかり巻かれないのかなあ。」と祈る思いで、日々の世話を続けていました。「上から押して堅くなっていれば収穫時」という文言を忘れていました。取り越し苦労でした。しっかり堅くなっているのを確認できた時は、すごく嬉しかったです。ぎっしりと巻かれていました！成功です！もし、玉の内側が透けて見えていたら、徐々に葉が巻かれていく様子を観察することができたのになあ、と思ったりしました。

○小かぶ

- 気温が上がらなかったため、あまり大きく成長しませんでした。葉と一緒にみそ汁の具にしたり、かぶとベーコンを炒めたり、かぶとミニトマトのチーズ焼きにして、美味しくいただきました。娘も喜び、率先して箸を伸ばしてくれました。
- 青虫さんに食べられて、密集してたものを無理矢理間引いたからか、肥料がたりないのか、あまり成長せず可愛いサイズのままです。
- プランターの物は大きくなりませんが、地に移した物は食べられるようになりました。
- 間引きながらたべました。

～ 栽培を始めてからこれまでのご感想、ご意見 ～

○店頭で見かけるような美しい野菜を作ることが出来なかったので、生産者さんのご苦労を感じました。

○野菜を育てていますと、朝が楽しみでした。

○青虫さんがいたり、間引いたりと普段野菜を育てたことがなかったので、夏野菜より育てるのが難しいように感じました。寒くなり、暗くなるのも早いので、子供達もあまり野菜のお世話をする機会が少なかったようです。水やりも天気が悪い日が多いのでそんなにいらなかったですし。

しかし、成長していく過程を子供達と一緒に見て、青虫さんを探したりと自然の中での食育として楽しく育てることができました。

○ミニ白菜はどのように結球が始まり、成長するのか観察できた事、孫共々驚きと嬉しさの連続でした。収穫の楽しさもあり、孫も食に対して興味を持ったようです。

○時々訪ねてくる孫たちが「葉っぱさん元気だね」とか「葉っぱさん大きくなったね」とか、プランターを見て会話してました。

○カブの種を手にした時、こんなに小さな種が発芽するのだろうか？と思いました。

少々雑な種蒔きだったかなと心配しましたが、その生命力には驚かされました。

蒔いた種の数に対して、最後に残した苗の数は100分の1にも満たないのではないかと思います。

間引く時は、本当に勿体ない気持ちでいっぱいでした。しかし、間引いた青菜も、とても美味しくいただくことができました。やはり、獲れ立ての野菜は最高です。最後に残した苗の根本が、日々生長していく様子を楽しみながら観察することができました。

○毎朝、防虫ネットを開けながら、育つのを確認するため、健康にも良かったです。

来年も違う野菜も育ててみたいとなりました。ご指導ありがとうございました。

○材料を一式頂き、楽しく育てる機会を頂いたこと感謝しております。毎日通る庭先で栽培する事で、家族みんなで成長を観察でき、家族との会話が増えました。上手く栽培できなくても、その先はどうなるのか？また新たな楽しいことをたくさん見つけられとても楽しい栽培体験となりました。

今号で「プランター栽培通信」は最終号となります。ご参加いただいた方からは、多くの写真や感想をお送りいただきました。誠にありがとうございます。本事業をつうじ、思う様に栽培できない「農」の難しさや、農作業をきっかけにして家族間で新たな会話が生まれるなど、様々な体験をしていただけたようです。今後も日常生活で「農」に触れ合い、彩ある生活をお過ごしいただければと思います。



この事業は、コロナ禍により、生活に様々な制限がある中で、

区民の皆様に「農」に親しんでいただくために感染対策を講じて実施しています。

